

平成 15 年春の叙勲

(2003年4月29日)

勲三等瑞宝章	小林 和夫 元九州工業技術試験所長
勲四等旭日小綬章	若松 清司 元電子技術総合研究所制御部長
勲四等旭日小綬章	服部 仁 元地質調査所地質部長
勲四等旭日小綬章	山北 尋巳 元名古屋工業技術試験所首席研究官
勲四等旭日小綬章	塩田 莞爾 元資源環境技術総合研究所 北海道石炭鉱山技術試験センター所長
勲四等瑞宝章	松村 知 元化学技術研究所安全化学部長
勲四等瑞宝章	加藤 政雄 元繊維高分子材料研究所第3部長

平成 15 年春の褒章受章者

(2003年4月29日)

紫綬褒章	中西 準子 化学物質リスク管理研究センター長
------	---------------------------

平成 15 年度文部科学大臣賞 (研究功績者)

(2003年4月17日)

軽部 征夫 (先端バイオエレクトロニクス研究ラボ)	○BOD センサーの開発に関する研究
谷川 英夫 (光技術研究部門)	○ホログラム記録用フォトポリマーに関する研究
中山 景次 (ナノテクノロジー研究部門)	○摩擦マイクロプラズマ及びその解析装置に関する研究
葭村 雄二 (環境調和技術研究部門)	○石油精製用貴金属触媒の研究

ハノーバーメッセに光触媒を出展

2003年4月7日(月)～12日(土)、ドイツ・ハノーバーで開催されたハノーバーメッセに、産総研は日本の公的機関としては初めて出展(環境材料としての光触媒技術)しました。

ハノーバーメッセはあらゆる産業技術関連企業等が一堂に会す、50年以上の歴史を持つ世界最大の国際見本市で、マイクロ技術、オートメーション、エネルギー、素材など8つの分野のパビリオンで構成されています。「研究と産業技術」のパビリオンの産総研ブースには、欧州をはじめとする多数の企業、研究所、大学、各国バイヤーなど約2,000人が訪れ、ヨーロッパの大企業を含めて数十にも及ぶ商談(共同研究計画、サンプル提供契約、輸入契約、技術特許相談など)が行われました。

また、別会場ではプレゼンテーションが行われ、ここでは「産総研」と「光触媒技術」の紹介を行いました。

予想を上回る盛況ぶりであり、産総研の光触媒技術の成果を十分に伝えることができた出展となりました。



http://www.aist.go.jp/aist_j/event/ev2003/ev20030407/report/old_ev20030407.html

環境調和型ディーゼルシステム共同 研究センターを一般公開

産総研が財団法人日本自動車研究所(JARI)の敷地内に建設中の「環境調和型ディーゼルシステム共同研究センター」が3月末日に竣工し、4月の科学技術週間に一般公開を実施しました。

この施設は、排出ガス性能が飛躍的に優れた革新的なディーゼルシステムの研究開発を行うための、超低濃度排ガスのナノ粒子計測や微量有害成分分析、健康影響評価が可能な実験設備を備えた研究施設で、産総研ではJARIと共同で「環境調和型ディーゼルシステム連携研究体(連携研究体長 水野 建樹)」を設立し、新世代の触媒開発等の基盤技術開発から、それらの基盤技術をベースに開発される超クリーンな大型ディーゼルエンジンおよび、大型ディーゼル車の排出ガス性能の総合的評価まで幅広い研究開発を行う予定です。



http://www.aist.go.jp/aist_j/event/ev2003/ev20030415/old_ev20030415.html

⚡ 経済産業省にロボット集合

2003年4月7日の鉄腕アトムの日に合わせて、4月7日(月)～8日(火)の2日間、RT(ロボットテクノロジー)事業創成キャンペーンの一環として、最近開発された先進ロボットの一部が経済産業省本館1階ロビー



に展示されました。産総研からは働く人間型ロボット「HRP-2」とメンタルコミットロボット「パロ」を出展しました。



⚡ ロボット博覧会 ROBODEX2003

パーソナルロボット(人間共存型ロボット)の最先端技術や製品を一堂に集めた世界最大級の博覧会「ROBODEX2003」が4月3日(木)～6日(日)に、パシフィコ横浜で開催されました。

昨年の1.5倍の広さの会場に企業や大学等38のブースが設けられ、90種類以上のロボットが展示されました。一番華やかだったのが、10種類15体以上の最新ロボットが登場する「ロボデックスパレード」。中でも産総研の「HRP-2」は、ひととき注目を浴びていました。



ロボデックスパレードで入場する「HRP-2」

⚡ 平成15年度科学技術週間につくばセンターで一般公開

平成15年度の科学技術週間に、常設公開施設でもある地質標本館およびJISパビリオンで特別展を行いました。「地質標本館」では、新設・改装された7つの特別展示を、「JISパビリオン」では、高齢者および福祉に関する特別展を、「くらしとJISセンター」では有効視野・聴覚特性などの特別公開を実施しました。

(写真は、新しく地質標本館の展示に加わった「白亜紀恐竜骨格模型“コンコラプトルの全身骨格と営巣状態”の復元」(右)と「地質リモートセンシング-宇宙から見た地球の映像-」の操作ディスプレイ(左))



http://www.aist.go.jp/aist_j/event/ev2003/ev20030415/old_ev20030415.html

⚡ 国際バイオ EXPO

創薬・食品・環境などの分野におけるバイオ研究支援機器・技術が一堂に集まる国際専門展「第2回国際バイオ EXPO」が5月14日～16日の日程で東京ビックサイトで開催されました。約400社から出展があり、産総研からは、技術移転を目指す研究成果の紹介と産総研発のベンチャー企業の紹介を行いました。

また、同時に世界各国のバイオ関連企業の意志決定者が集う「バイオパートナーングフォーラム」が実施され、投資や資金調達、技術移転などについて話し合われました。更に、出展社による製品・技術PRセミナープログラムも多数用意された、きめ細かいイベントでした。



⚡ 産総研一般公開のお知らせ

産総研では一般公開を実施します。

- 7月26日(土) つくばセンター
- 8月1日(金) 関西センター、九州センター
- 8月2日(土) 北海道センター

* 5月20日現在で日程が確定しているものを掲載しています。